

# メッシュデータを用いた分析例

---

～国土のグランドデザイン2050参考資料などより～

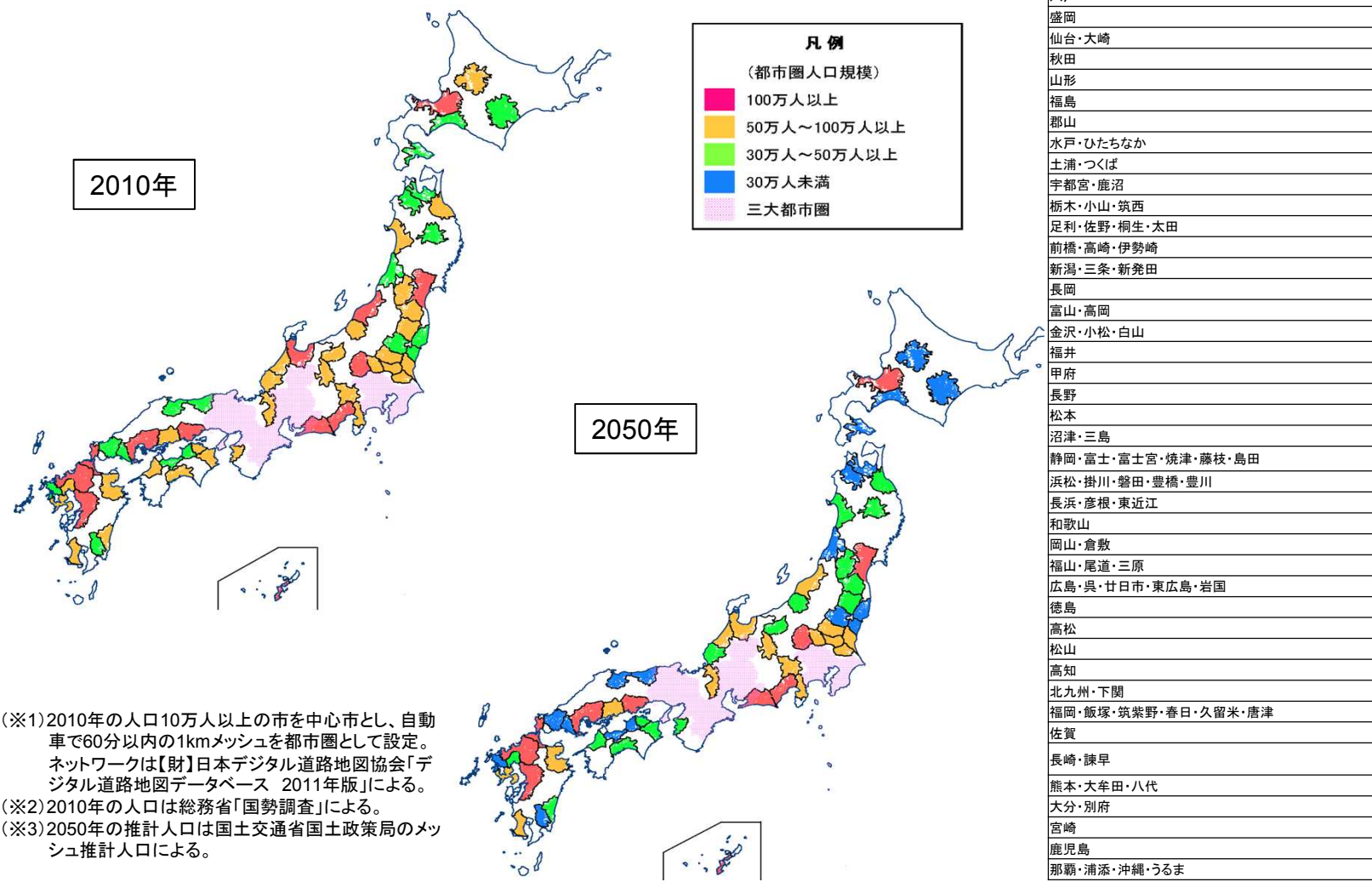
国土交通省国土政策局

平成26年9月

○30万人以上の都市圏※は、61(2010年)から43(2050年)へと激減。

※)三大都市圏を除く。

2010年に人口30万人以上の都市圏(三大都市圏を除く)の人口の変化



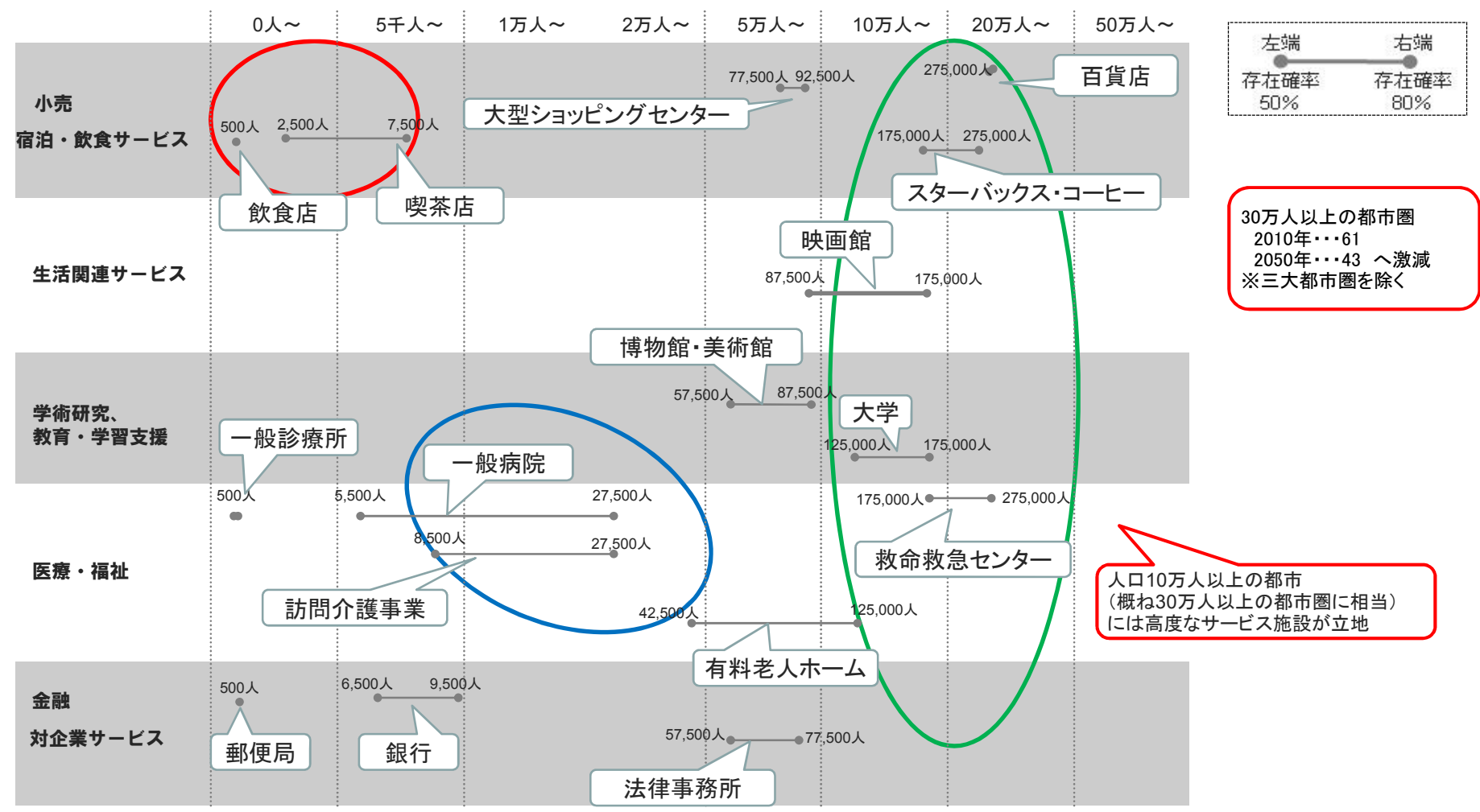
(※1)2010年の人口10万人以上の市を中心市とし、自動車で60分以内の1kmメッシュを都市圏として設定。ネットワークは【財】日本デジタル道路地図協会「デジタル道路地図データベース 2011年版」による。  
(※2)2010年の人口は総務省「国勢調査」による。  
(※3)2050年の推計人口は国土交通省国土政策局のメッシュ推計人口による。

| 2050年に人口30万人を維持できる都市圏(中心市) | 2050年に人口30万人を維持できない都市圏(中心市) |
|----------------------------|-----------------------------|
| 【43都市圏】                    | 【18都市圏】                     |
| 札幌・小樽・江別                   | 函館                          |
| 八戸                         | 旭川                          |
| 盛岡                         | 帯広                          |
| 仙台・大崎                      | 苫小牧                         |
| 秋田                         | 青森                          |
| 山形                         | 弘前                          |
| 福島                         | 鶴岡・酒田                       |
| 郡山                         | いわき                         |
| 水戸・ひたちなか                   | 日立                          |
| 土浦・つくば                     | 那須塩原                        |
| 宇都宮・鹿沼                     | 鳥取                          |
| 栃木・小山・筑西                   | 米子                          |
| 足利・佐野・桐生・太田                | 周南                          |
| 前橋・高崎・伊勢崎                  | 山口・防府                       |
| 新潟・三条・新発田                  | 丸亀                          |
| 長岡                         | 新居浜・西条                      |
| 富山・高岡                      | 佐世保                         |
| 金沢・小松・白山                   | 都城                          |
| 福井                         |                             |
| 甲府                         |                             |
| 長野                         |                             |
| 松本                         |                             |
| 沼津・三島                      |                             |
| 静岡・富士・富士宮・焼津・藤枝・島田         |                             |
| 浜松・掛川・磐田・豊橋・豊川             |                             |
| 長浜・彦根・東近江                  |                             |
| 和歌山                        |                             |
| 岡山・倉敷                      |                             |
| 福山・尾道・三原                   |                             |
| 広島・呉・廿日市・東広島・岩国            |                             |
| 徳島                         |                             |
| 高松                         |                             |
| 松山                         |                             |
| 高知                         |                             |
| 北九州・下関                     |                             |
| 福岡・飯塚・筑紫野・春日・久留米・唐津        |                             |
| 佐賀                         |                             |
| 長崎・諫早                      |                             |
| 熊本・大牟田・八代                  |                             |
| 大分・別府                      |                             |
| 宮崎                         |                             |
| 鹿児島                        |                             |
| 那覇・浦添・沖縄・うるま               |                             |

○一定の規模を維持できない都市圏ではサービス提供機能と雇用※が消失するおそれ。

※三大都市圏を除いた地方の雇用に占める第3次産業の比率は65%

サービス施設の立地する確率が50%及び80%となる自治体の人口規模 (三大都市圏を除く)



(出典)各種資料をもとに国土交通省国土政策局作成

○「コンパクト」にしていだけでは都市圏の機能の維持は困難。  
○地域の人々の暮らし・生活を守り、地域が成長していくため、**地方都市が連携する「コンパクト」**  
**+「ネットワーク」**により圏域を拡大することで解決。(全国60～70箇所程度)

高速道路の活用による松江・米子都市圏※1の変化

【高速道路を活用しない】

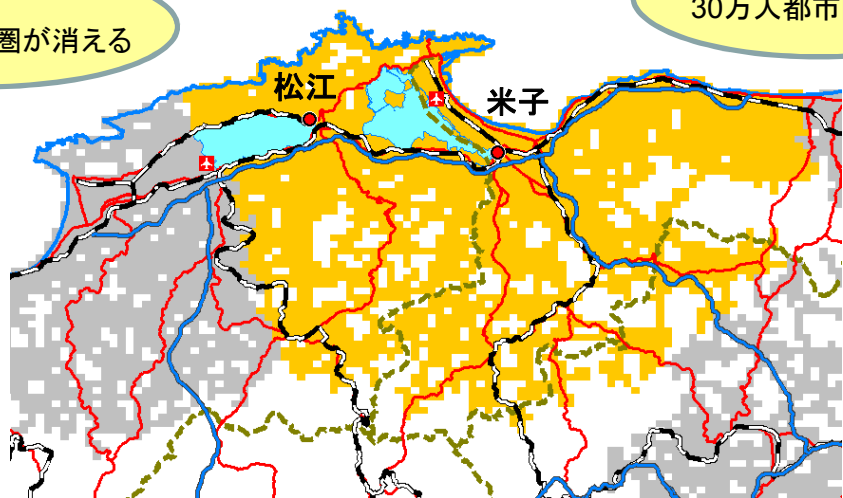
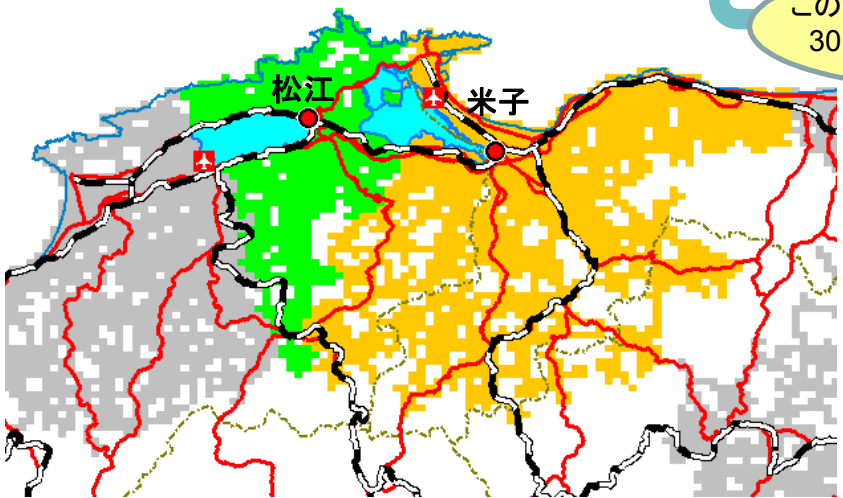
| 都市圏の<br>中心市 | 都市圏人口(万人) |         |
|-------------|-----------|---------|
|             | 2010年※2   | 2050年※3 |
| 松江市         | 22.0      | 15.6    |
| 米子市         | 32.6      | 20.9    |

【高速道路を活用】

| 都市圏の<br>中心市 | 都市圏人口(万人) |         |
|-------------|-----------|---------|
|             | 2010年※2   | 2050年※3 |
| 松江市・米子市     | 56.0      | 37.3    |

このままでは  
30万人都市圏が消える

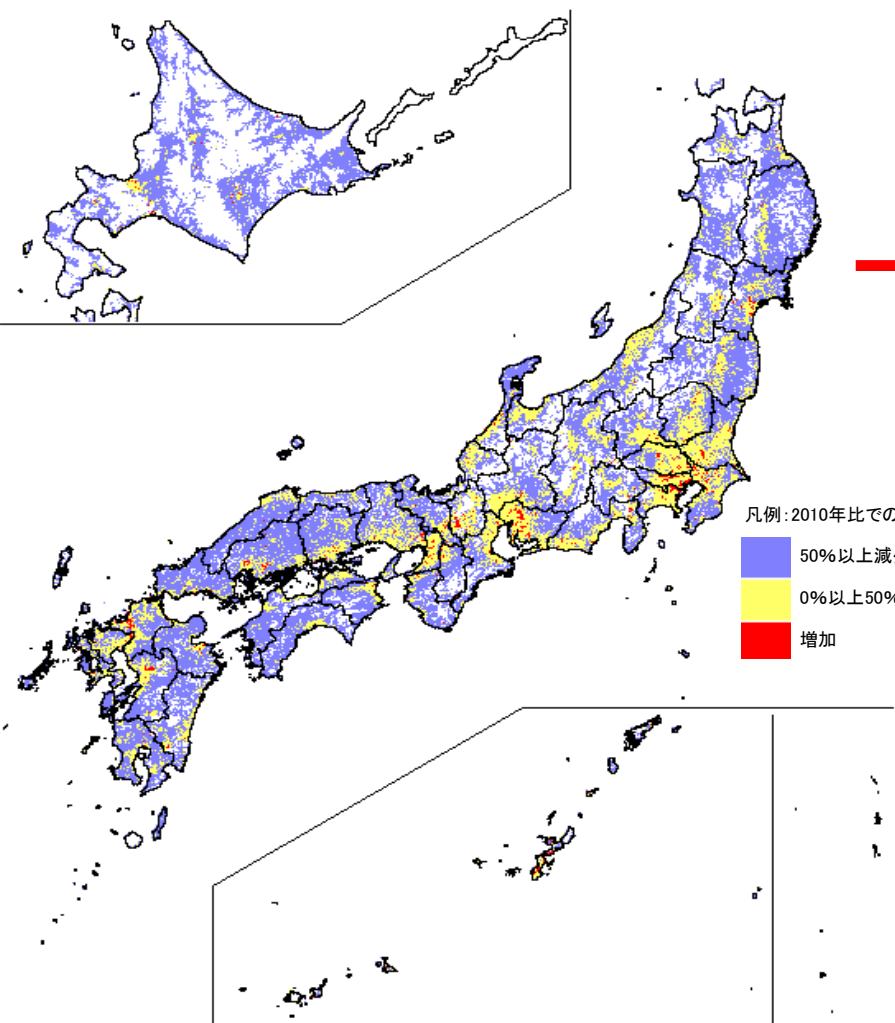
ネットワークにより  
30万人都市圏を維持



(※1) 2010年の人口10万人以上の市を中心市とし、自動車で60分以内の1kmメッシュを都市圏として設定。  
(※2) 2010年の人口は総務省「国勢調査」による。  
(※3) 2050年の推計人口は国土交通省国土政策局のメッシュ推計人口による。

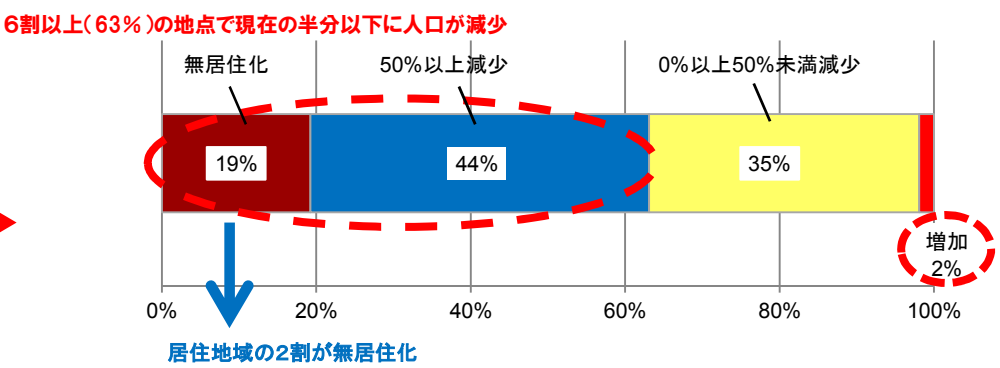
- 全国を《1km<sup>2</sup>毎の地点》でみると、**人口が半分以下になる地点が現在の居住地域の6割以上**を占める(※現在の居住地域は国土の約5割)。
- 人口が増加する地点の割合は約2%であり、主に大都市圏に分布している。**
- 《市区町村の人口規模別》にみると、**人口規模が小さくなるにつれて人口減少率が高くなる傾向**が見られる。特に、現在人口1万人未満の市区町村ではおよそ半分に減少する。

【2010年を100とした場合の2050年の人口増減状況】

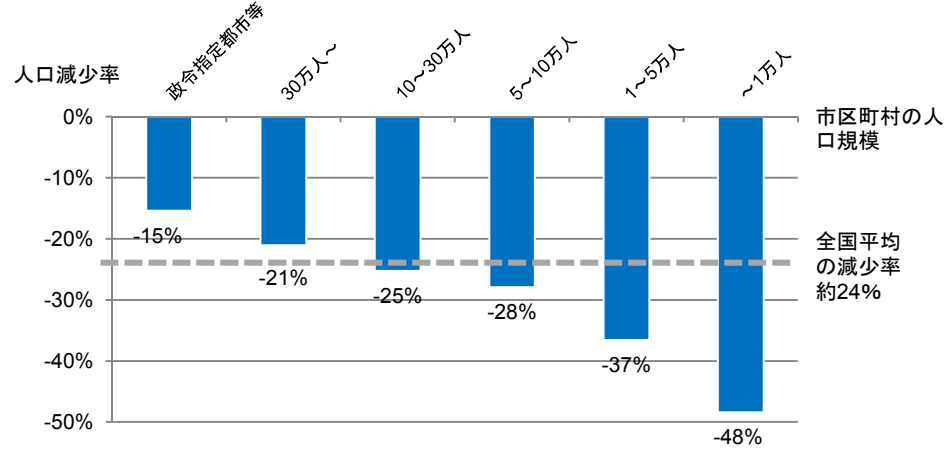


凡例:2010年比での割合  
50%以上減少(無居住化含む)  
0%以上50%未満減少  
増加

人口増減割合別の地点数

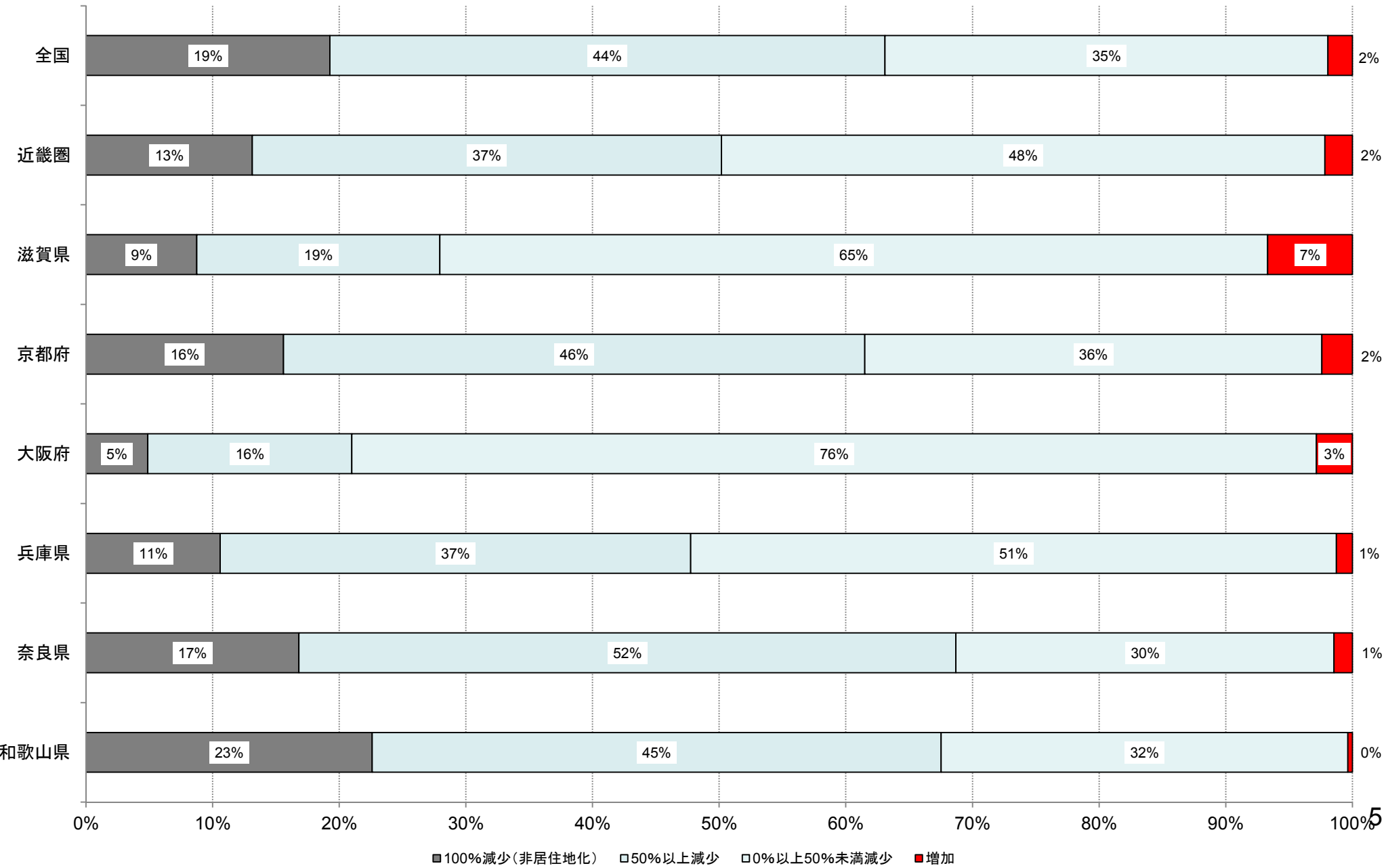


市区町村の人口規模別の人口減少率

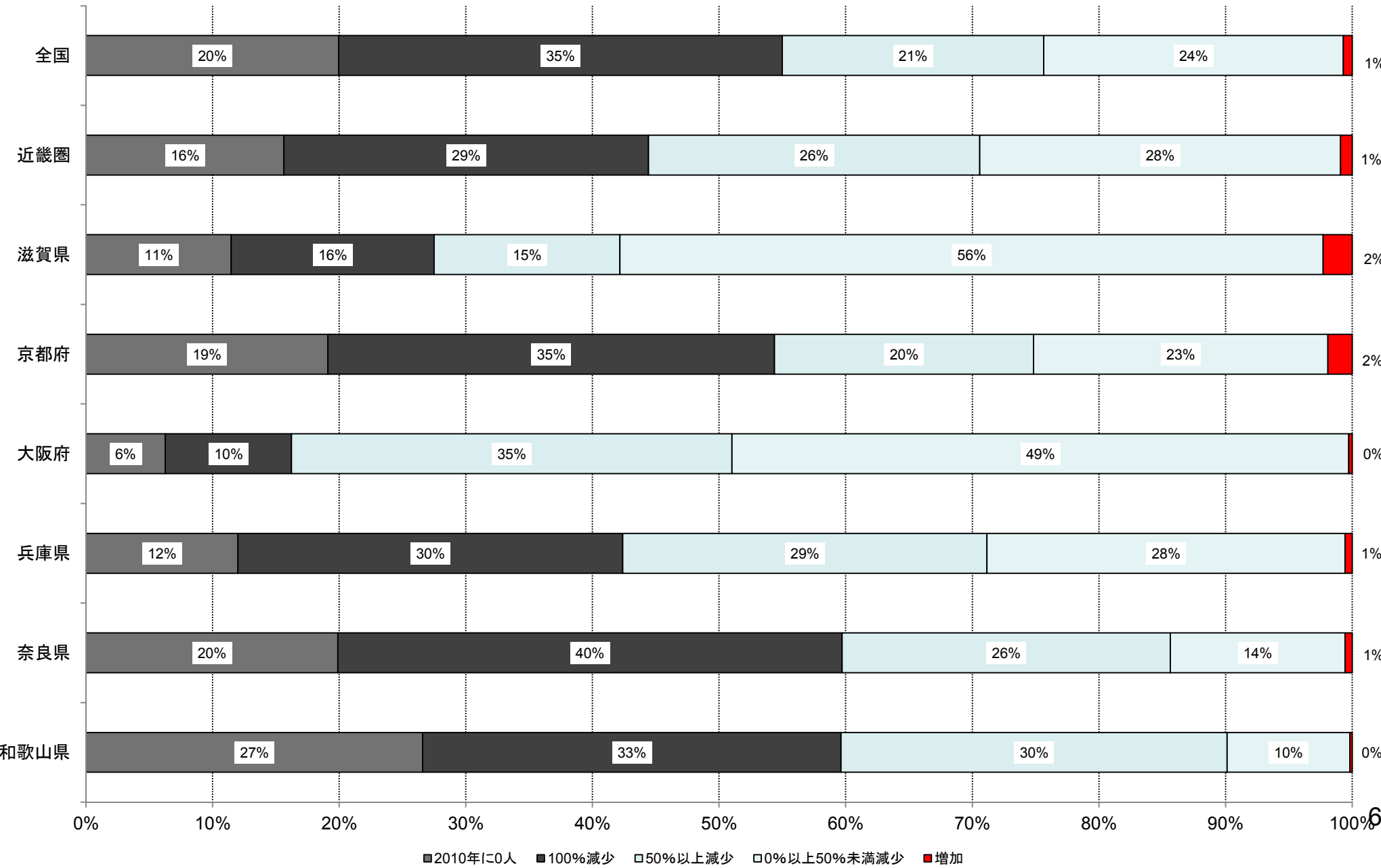


(出典) 総務省「国勢調査報告」、国土交通省国土政策局推計値により作成。

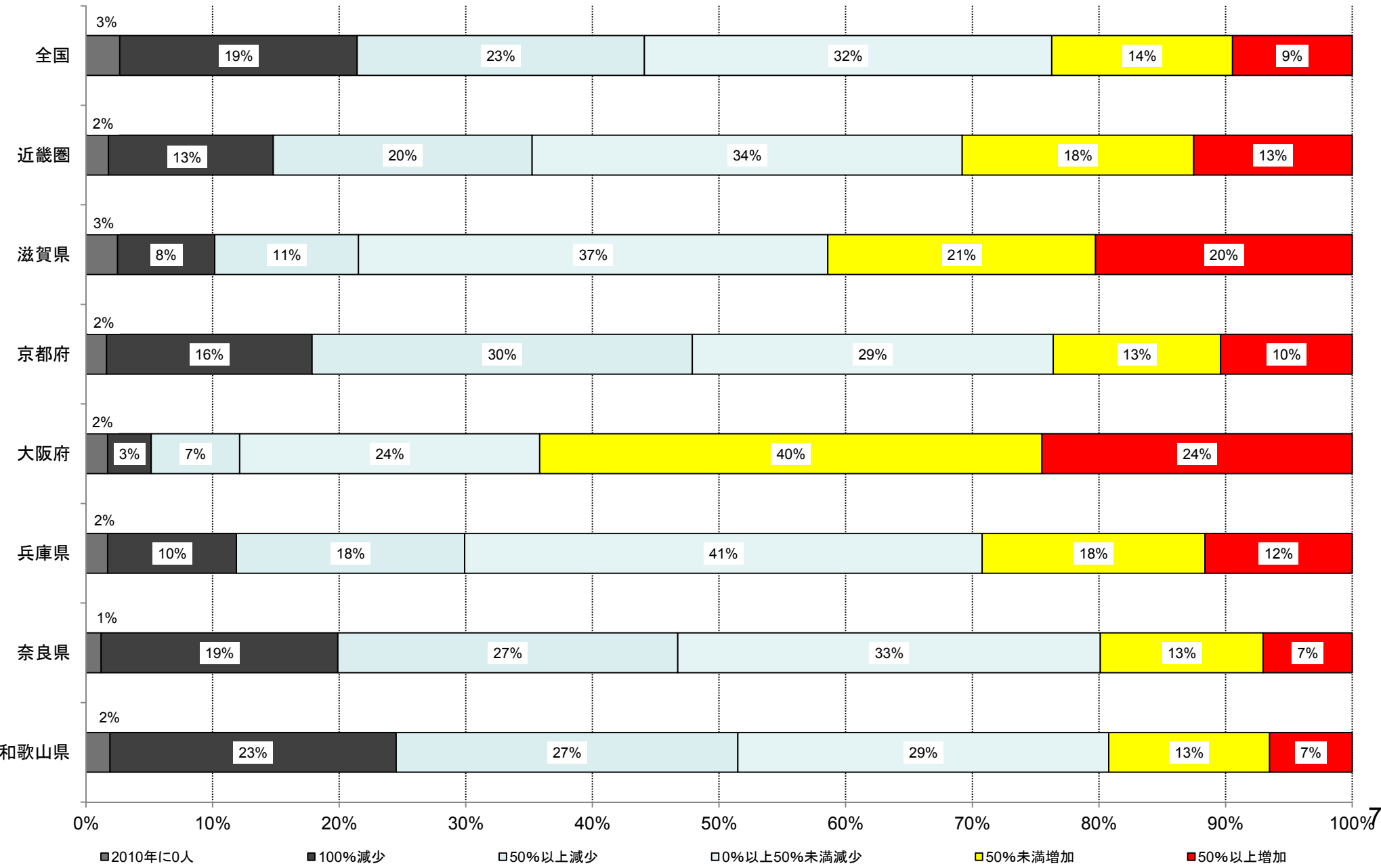
# 人口増減率(2010-2050年)別の地点数割合【総人口】(近畿圏)



# 人口増減率(2010-2050年)別の地点数割合【若年人口0-14歳】(近畿圏)



# 人口増減率(2010-2050年)別の地点数割合【高齢人口65歳以上】(近畿圏)





人口増減率(2010-2050年)別の地点数割合【75歳以上人口】(近畿圏)

国土交通省

